

令和2年度 事業計画

1. 基本方針

我が国においては、少子高齢化が進み人口が減少している中で成長力を確保していくために、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することがますます重要となっています。

神石高原町においても、人口が9,000人を割り込み、65歳以上が占める人口は約47%に達しており、若年労働者不足が深刻になっている中、高齢者が現役として果たす役割が益々重要になっています。

このような中で、シルバー人材センターは、現役世代の下支えや人手不足分野での労働力確保に貢献するとともに適正就業ガイドラインを遵守し、地域社会の維持・発展と就業意欲の高い高齢者の受け皿としての役割を果たしています。また、地域生活に密着した就業機会を提供することにより、高齢者の「居場所」と「出番」をつくり、高齢者の生きがいの充実・社会参加の促進とともに地域の活性化と医療費や介護給付費の削減に寄与しています。

当センターのシルバー事業は、公益社団法人に移行し10年目を迎え、公益認定法による3つの公益目的事業が挙げられており『自主・自立、共働・共助』を基本理念に、統一テーマ「親切・丁寧・誠実な就業で、地域から信頼され地域の期待に応えるシルバー」をめざして、身の丈に応じた持続可能な事業展開を行っていきます。

そのため、センター事業の基本姿勢である『福祉の受け手から福祉の担い手へ』を合言葉に、多様化する地域における人手不足分野等の取り組みに対応できるよう事業体質の改善・強化に努めながら、高齢者として新たな活躍の場の確保をめざして事業実施計画に反映していきます。

2. 事業実施計画

(1) 普及啓発活動《公1》〔1〕4 - (1)

○シルバー事業の意義と基本的な理念及び取組み等を、積極的に町内へ周知します。

○広報紙「やまびこ」、ホームページ、チラシ等を活用して、常に「お客さま第一主義」で、シルバー事業に対する信頼と理解が得られるよう努めます。

○町民まつりや各種イベントへの参加により、新規入会者の募集を行うと同時に、シルバー事業の情報提供と情報収集を行います。

(2) 安全就業の徹底・適正就業の推進《公1》〔1〕4 - (2)

- 「安全はすべてに優先する」を合言葉にして、「就業中の事故防止」に加えて「就業途上における交通事故防止」の徹底について積極的に取り組みます。
- 基本的には「毎月17日を安全の日」と定めて、6月と7月の集中期間を含めて就業現場のパトロールを実施し、猛暑の対応策や熱中症予防についても安全意識の普及啓発に取り組みます。
- 安全就業標語の募集により優秀作品を選考して公表することにより、安全に対する意識の高揚に努めます。
- 適正就業ガイドラインをより実践するため、雇用とみなされる就業については、就業先の理解を求めるとともにシルバー派遣事業の活用を図ります。
- 長期にわたる就業、本来の契約内容とは異なる就業については、適正就業基準を遵守して適正化を図り、就業の公平および円滑な適用に努めます。

(3) 就業開拓・就業拡大活動《公1》〔1〕4 - (3)

- シルバー事業は、本来、請負や委任の受託事業を主体に推進しますが、新たな就業として事業所等の指揮・命令を受けて働くシルバー派遣事業の推進も行っていきます。
- シルバー事業は、就業機会の拡大が不可欠であり、地域から信頼され期待されるセンターとして、地域の就業ニーズ等の把握を行い、行政・民間企業・任意団体・法人等と総合的な調整に努めます。
- 地域に貢献し地域に期待されるセンターとして、会員・役職員による高齢者にふさわしい1人1就業開拓をめざします。

(4) 相談・情報提供《公1》〔1〕4 - (5)

- 毎月第3火曜日に新入会員説明会を設定していますが、希望があれば随時説明会を設定して高齢者からの相談に丁寧に対応します。
- 入会希望者への説明及び面談に当たっては、シルバー人材センター事業の理念やセンターの制度を十分に説明します。
- 地域で働く高齢者のためのワンストップサービスセンターとして、高齢者に雇用、就業、職業能力開発、ボランティア活動、自営、就農等に係る相談や情報提供を行います。

(5) 社会参加活動の推進《公1》〔1〕4 - (6)

- ボランティア活動として、希望する高齢者を対象に「できることを」「できる範囲で」を合言葉に社会参加活動を行います。
- 地域に密着した防犯パトロール活動により、事故の未然防止に取り組む活動

を展開していきます。

○「全国シルバーの日の協賛事業実施」「高齢者に対する生活サポート声かけ活動」「通学児童の安全見守り活動」など、地域に役立つセンターとして地域に真心をお返しする会員として地域に貢献できる活動を展開します。

(6) 会員拡大の推進

○会員拡大はシルバー事業の根幹をなすものであり、第3次中期計画の目標会員数319名に基づき、1人が1会員入会の輪を広げて前向きな入会促進に努めます。全国レベルでは、平成30年度から第二次会員100万人達成計画が設けられ、令和2年度までに80万人、令和6年度には目標達成をめざして会員を増加する取組みを強めていきます。

○継続再雇用が定着している中で、会員確保の対応に苦慮することが避けられない状況ですが、地域を支える立場であり続ける高齢者の入会を増やすことは必要不可欠です。そして、全センター賛同のもと広島県シルバー連合会においてテレビ放送を利用した入会の呼びかけが行われるとともに、各会員、役職員の協力により健康で働く意欲のある新入会員の拡大を実現していきます。

○就業を離れた高齢会員には、「ゴールド会員制度」の周知を図り、就業を伴わないボランティア活動などで交流できる特別会員としての勧奨に努めます。

○女性会員の拡大については、男女共同参画にふさわしく積極的な推進を図ります。

(7) 組織活動(地域班・職群班)の体制強化

○地域班は、会員相互の連帯意識と親睦を基に、センターと会員の連絡体制を整えて、事業効果を高めて地域の発展に貢献します。

○職群班は、会員の共働・共助を基本に、安全を優先した作業遂行を促進して事業効果を高めることに貢献します。

○地域班及び職群班の充実と連携を図り、地域に根ざした事業展開と発注者のニーズに迅速な対応ができる体制の強化をめざします。

(8) 会員の資質向上

○地域の信頼に応えるため、「愛されるシルバー会員」をめざして、会員の資質向上に努めます。

○発注者から一層満足いただけるように技能やマナーの向上に努めて、シルバー会員に限らず、町内の高齢者全員を対象にした講習会を開催し、その他各種講習会への参加も呼びかけて、個々の技術の向上と資質の向上に努めます。

①安全就業講習会 ②剪定実技講習会 ③刈払機講習会 ④施設清掃講習会

⑤学童保育研修会 ⑥福祉・家事援助研修会 ⑦地域班・職群班研修会

○事務局においては、各職員の資質の向上と業務の迅速化、効率化を図るとともに事務局機能の充実を図ります。また、職員間の情報の共有を図り、研修会・講習会には積極的な参加に努めます。

(9) 安定的財政運営基盤の構築

○第3次中期計画によるセンターの自立的な運営基盤の適正な見直しを行い、強化対策を計画的に推進します。

○公益社団法人として、「不特定多数の者の利益に供する公益事業の展開」など公益性を重視した事業運営が重要となっています。更に、事業運営の公平・公正・透明性が求められており、財政基盤の明確化や適正な財産管理に努めます。

○効率的な投資、事務経費の節減、運営費等支出について、分析・検討・見直しを行い、センター事業の安定的な財政運営に努め、関係機関との連携を密にして、適正・効率的な法人運営を行います。

(10) 学童保育事業の充実

○町委託事業である学童保育事業「やまびこクラブ」は、保護者の就労により留守になる家庭の児童が、放課後から夕方までと長期休みの時間を、家庭的な雰囲気の中で過ごすところで、児童の基本的な生活習慣をしつけるとともに、集団生活を楽しめる子供の育成と、遊びを通して自主性・社会性・創造性・協調性を身につけることなどを指導しています。

○指導員の研修会・講習会に積極的に参加し、行政・学校・保護者と連携した指導体制の充実を図ります。

○指導員の情報共有により、安心・安全な保育内容の充実に努めます。

○やまびこクラブ三和館と他の3館において、土曜日の開所を行っていますが、保育時間延長については、町の子育て支援方針を考慮して、今後の指導員の対応を協議していきます。